

まちづくりシネマ

ひとと、まちと、
つながって、
いきる、

誰と生きるか、
何を愛するか、
それが人生――

ふるさとがえり

GOING HOME 

参加無料

2012年(平成24年) 2月18日(土), 19日(日)

“シーン1” 映画「ふるさとがえり」上映会

18日(土)14:00～/19日(日)10:00～ [シネフク大黒座]

“シーン2” まちづくり講“縁”会

19日(日)14:00～ [まなびの館ローズコム 大会議室]



主催：福山市

〒720-0056

協力：

 Furec GROUP

 FireWorks

福山市本町1番35号(市民参画センター内)

福山市市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課

電話：084-928-1051 / F A X : 084-926-0490

あなたにとって、 “ふるさと”とは何ですか？



「映画制作によるまちづくりプロジェクト」

2006年、岐阜県恵那市で合併した地域の間で心の交流を進めるため、映画製作を通じてまちづくりを進める「えな”心の合併”プロジェクト」が誕生し、市民総参加の映画づくりが始まりました。プロジェクトでは1,000人以上の住民と脚本家が対話を重ねながらの脚本作りや、草の根活動による協賛金集め、チャリティコンサートの開催などの取り組みを通じ、ひとつの物語として紡がれていきました。

こうして、映画「ふるさとがえり」が完成したのです。

映画「ふるさとがえり」

映画の仕事辞めて帰郷し、かつての村役場だった振興事務所働くこととなった主人公・勤治。

帰郷した勤治が目当たりにしたのは、少年時代とは様変わりした故郷、地域の消防団活動に精を出す仲間達の姿でした。勤治は戸惑いながらも故郷での仕事や消防団の活動に参加し、地域の一員として生き方を模索していきます。

そんな中、幼い頃からの夢だった映画監督としてデビューする話が舞い込みます。ふるさとへの想いー幼い頃からの夢ー、深い葛藤の末に勤治が選んだのは…



“シーン1”映画「ふるさとがえり」上映会

2月18日(土) 14:00~16:30(13:30より開場)

2月19日(日) 10:00~12:30(9:30より開場)

場所:シネフク大黒座 福山市笠岡町3-9

定員:各回360人

〔講師紹介〕

栗山 宗大
(くりやま むねひろ)
脚本家



「物語の創造」を通じて、ひと・組織・地域社会の未来をひらく活動を展開。
監督・林弘樹と設立したFire Worksは、日本発となる「市民参加型映画事業」のモデルをデザイン。日経地域情報化大賞MJ賞や地域づくり総務大臣表彰を受賞。

“シーン2”まちづくり講”縁”会

～ひとと、まちと、つながって、いきる、～

2月19日(日) 14:00~16:00(13:30より受付)

14:00~ 講演 「ふるさとがえり」脚本家 栗山 宗大 さん
「えな“心の合併”プロジェクト」代表
小坂 潤治 さん

15:30~ 講師を囲んで意見交換

場所:まなびの館ローズコム 福山市霞町1-10-1

定員:200人 (要事前申込)

申込:福山市協働のまちづくり課

電話:084-928-1051 / 電子メール:kyoudouno-machidukuri@city.fukuyama.hiroshima.jp

小坂 潤治
(こいた じゅんじ)
えな“心の合併”
プロジェクト代表



デザイン会社・ゼロワンカンパニー代表
取締役社長 クリエイティブディレクター
苦勞と困難の連続だったプロジェクトを支え、
映画の完成を導く。2010年からプロジェクトを
NPO法人化、地域発信事業を展開。

※上映会場、講”縁”会場ともに駐車場(有料)に限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。